

令和4年3月3日公安委員会会議概要

日 時	令和4年3月3日（木）午前9時40分から午後1時45分までの間
出席委員	外山委員長、小長谷委員、長澤委員、稲田委員、松永委員

第1 審議・報告案件

県警から、次のとおり報告を受けた。

1 令和4年度術科及び白バイ特別訓練選手指名式の開催について【警務部・交通部】

令和4年4月1日（金）午後2時から、警察本部において、「令和4年度術科及び白バイ特別訓練選手指名式」を開催し、表彰や令和4年度の柔道、剣道、逮捕術、射撃及び白バイの特別訓練選手に対する特別訓練選手指名書の交付を行う。

委員が「警察の術科等競技大会は、執行力の強化を目的に行われるものであり、警察として重要な業務となる。コロナ禍で思うように訓練や大会が行えず苦労があるかと思うが、執行力の維持のため、しっかりとやっていただきたい。」と意見した。

2 災害時における警察の施設及び自動車等の燃料の調達に関する協定の締結について【警備部】

南海トラフ地震等の大規模災害発生時、県警察が災害警備活動等を継続するために必要な車両等の燃料確保を目的に、静岡県石油業協同組合との間で、警察の施設や車両等に対する優先的な燃料供給に関する協定を締結する。

3 県政インターネットモニターアンケート集計結果について【生活安全部】

県民の犯罪に対する不安感や県民が犯罪抑止に何を求めているのかを把握するとともに、街頭防犯カメラの設置に関する県民の意見（意識）を確認し、今後の街頭防犯カメラ整備事業に反映させるため、令和4年1月7日（金）から1月20日（木）までの間に県内在住又は通勤・通学している満15歳以上の方を対象にアンケートを実施した。

(1) アンケート結果抜粋

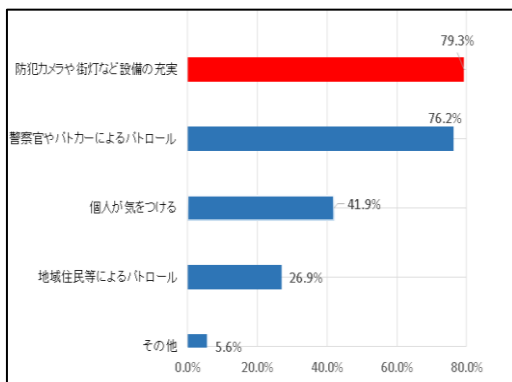
問1 「あなたは今住んでいる地域で犯罪に対する不安はありますか。

「ある」と回答 27.5%

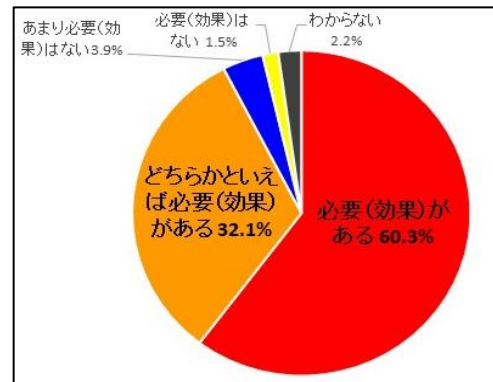
問2 「あなたは今住んでいる地域で犯罪の被害にあうと思いますか。

「思う」と回答 27.8%

問3 犯罪等による不安を減らすにはどんな方法が有効だと思いますか。（複数回答）



問4 防犯のために防犯カメラは必要（効果）があると思いますか。（回答は1つ）



(2) 検証結果

- ・ 「犯罪等による不安を減らすにはどのような方法が有効か」という問いに対して、「防犯カメラ等の設置（79.3%）」との回答が多い。
- ・ 「防犯のために防犯カメラは必要（効果）があると思いますか」との問に対して「必要（効果）がある」若しくは「どちらかといえば必要（効果）がある」との回答が92.4%となっている。
- ・ 犯罪に対する不安を解消したり、犯罪を減少させたりするには、街頭防犯カメラの設置が必要（有効）であると考えているという結果となった。

委員が「犯罪抑止や地域の皆さんの安心感の醸成のためにも、街頭防犯カメラの設置について広く周知を図るよう努めていただきたい。」と意見した。

第2 個別決裁・報告等

- 1 静岡県暴力団排除条例違反に係る勧告について（組織犯罪対策課）
- 2 公安条例の取扱状況について（警備課）
- 3 日米共同訓練に伴う警戒警備について（警備課）
- 4 銃砲等の許可事務の取扱いに係る規程等の新設について（生活保安課）
- 5 監察案件について（監察課）
- 6 人事案件について（警務課）
- 7 運転免許更新区分に係る審査請求への対応について（運転免許課）
- 8 チャレンジ講習の実施に関する規程の廃止について（運転免許課）
- 9 審査請求に伴う審理経過報告及び裁決について（総務課）

第3 運転免許の行政処分

運転免許の取消しにかかる意見の聴取・聴聞の実施結果と処分に関する説明を受け、20件の行政処分を決定した。